

報告③ 2019年度ぱれっと社員総会開催のお知らせ

会員の皆様へ【2019年度 特定非営利活動法人ぱれっと社員総会開催のお知らせ】

いつもぱれっとへのご支援を賜り、誠にありがとうございます。コロナウィルスの影響が先行き不透明な状況ではありますが、現段階では2019年度の社員総会を下記の通り予定しております。昨年同様、映像や画像を使用してわかりやすく各事業ごとに総括、決算、目標、予算を発表いたします。皆様のご出席をよろしくお願いいたします。

日時：2020年5月23日(土)13:00-16:00(開場12:00)

場所：地域交流センター恵比寿 地下1F コミュニティホール

会員の皆様には、4月下旬に総会資料、総会開催のお知らせ、会費納入のお願いを発送いたします。

なお、会費を「自動引き落とし」にてお申込みいただいている皆様は、2020年4月1日に引き落としが実行されますので、ご準備をよろしくお願いいたします。

総会終了後のお楽しみは.....

今年もやります!ハーブ教室発表会&サンシャインダンスパフォーマンス&ぱれちケ2020.....そして。

「谷口奈保子 次代へのメッセージ 退任記念イベント」

ぱれっと創始者谷口奈保子が、今回の総会をもってぱれっとインターナショナル・ジャパンの代表を降り、すべての要職から退くこととなります。まだ詳細は決まっておりますが、今年9月には退任記念イベントも企画しております。それに先立ち、5月23日の総会では、そのイベントとして、短い時間ではありますが、創立37年を迎えるぱれっとの次代を担う方々へ、また、これからの地域社会へ贈るメッセージをお伝えしたいと思います。総会終了後、16:00-17:30の予定で、ハーブ演奏、サンシャインダンス、チャリティチケット抽選会「ぱれちケ2020」に続き、谷口から皆様へひとことご挨拶を申し上げます。この時間は、会員で無い方でもご参加いただけますので、よろしくお願いいたします。

お問い合わせは03-5766-7302またはpalette@npo-palette.or.jp事務局 長南山まで。

報告4 第6期渋谷区障がい福祉計画意見交換会

4月から始まる2020年度は、第5期渋谷区障がい福祉計画の最終年度にあたり、同時に翌年度から始まる、第6期計画の策定作業を行なう1年にもなります。1月には、合計3回の意見交換会が開催され、当事者、家族、支援者、区議会議員、地域のボランティアなど様々な立場の方が集まって、今何に困っているのか、何が必要なのか、についての議論の場が設けられました。ぱれっと関係者の感想をお届けします。(事務局長 南山達郎)

【意見交換会参加の感想から】

- 今回、福祉サービスを利用されている当事者も参加していたので、ご本人が必要としているものを知る機会となりました。彼らの望みを叶えるには、マンパワーが足りない事が大きな課題と考えられました。少子化に向かっている日本は、社会全体が人手不足となるのは確実で、将来子どもを取り巻く環境がどうなっているのか心配になりました。(ぱれっと親の会 村上)
- 区の意見交換会というものに参加するのが人生で初めての体験であり、楽しみでした。障がい者もその家族も健常者も同じ目線で1つの課題に対し意見を出し合うのは、問題の共有も出来るし、自分の思っていることも出しやすいと感じました。ファシリティ技術の勉強にもなり充実感でいっぱいです。(えびす・ぱれっとホーム職員 前田)
- 意見交換会に初めて参加し区民の生の声を届ける貴重な場であると感じました。具体的に出された課題として放課後デイや作業所への送迎、福祉人材不足、グループホームに入所すればそれで良いのかといった疑問、身体障がい者の方ではゴミ処理で家の中から外に出すことも困難といった話も出て、困った問題に直面している人たちがいるということがわかり、このような場に多くの方に参加して意見交換をするべきと思いました。(ぱれっと親の会 田代)
- 私のテーブルには、障がい者、高齢者、子ども、地域包括といったそれぞれの分野に関わっている人達、さらに障がい当事者、渋谷区議もいました。それぞれの立場から多種多様な課題が挙がり、それをお互いに受け止め合い、一緒に解決策を考え、本当に有意義な意見交換ができました。自分が知らなかった高齢者・子どもの分野の困りごとに驚いたり、逆に障がい分野の問題に皆が共感してくれたり、話が尽きませんでした。ぜひこの声と議論が、実際の福祉計画に生かされることを願います。(おかし屋ぱれっと職員 村井)
- 今回の意見交換会は精神障がいの方たちの暮らしを知る良い機会となりました。ただ、出された要望の中には、自分たちの職場の上長に相談することで解決できるものも少なからずあると感じました。当事者の意見を聞くことは大事なことなので、福祉計画への意見交換会の前に直接作業所に向いて、意見を吸い上げる機会を持つてはどうでしょうか。(ぱれっと事務局職員 高尾)
- 第一回目の夜の部には障がい者ご本人や支援者の参加が多く、色々な意見を聞くことができて勉強になりました。それぞれの立場で抱える悩みや改善してほしい点は違いますが、まずは意見を出すことが解決への方向につながって行くように感じました。(ぱれっと親の会 安川)
- グループ内での意見交換の場では、それぞれの職種によって異なる問題点が多く発表されていたため、まとめる事が大変だった印象ですが、全体発表の内容と重複していて、みな、同じ悩みや問題点を抱えていると感じました。渋谷区内の事だけでなく、区外の取り組みや情報が発信され、グループ内の区職員の方々には、とても良い刺激になったと思います。個人的には、いこっとの担当者として、GH以外で自立したいが場所が無いと感じている人が多い事、いこっつのようなシェアハウスを必要としている多くの方々に、情報発信する事の大切さを感じました。(ぱれっと事務局職員 西川)